

動物について(鳥類以外)

富士山は比較的新しい山で、気象条件も厳しい山ですが、多くの動物が生息しています。ほ乳類は天然記念物であるニホンカモシカをはじめ約40種類の生息が確認されており、昆虫なども多数生息しています。



ヒメネズミ

木のよく茂った暗い森に棲み、「森林のネズミ」とも呼ばれるほど木登りが得意です。尾が体より長いのが特徴です。
ハタネズミ 他

森 林 限 界



ニホンカモシカ

雌雄ともに頬ひげがあり、細く短い円錐状の角を持ちます。夏は標高2,000m付近の森林に暮らし、冬は1,300mくらいまで降りてきます。
フジズモグラ、アカギツネ、ニホンアナグマ、ツキノワグマ 他



ヤマネ

ブナ林床、樹上に多く生息しています。背中に黒く太い筋が一本走っているのが特徴で雑食性です。富士山域ではシジュウカラの巣と卵を横取りしているところを何度か発見されています。
ムササビ、ニホンジカ、ホンドリス 他



ウサギコウモリ

麓から五合目の森林限界まで幅広く分布し、夏の間は人のいない小屋内にも棲んでいます。
イノシシ、ノウサギ、シントウトガリネズミ、オコジョ、ホンドキツネ 他

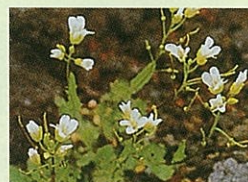
植物について

1,500mまでの低山帯では、主に広葉樹林が生い茂っていますが、それ以上(亜高山帯)になると徐々に針葉樹林に移り変わります。2,500mは「森林限界」と呼ばれ、これより上では森林は見られなくなり、コケモモなどの限られた高山植物が生育するのみとなります。



オンタデ

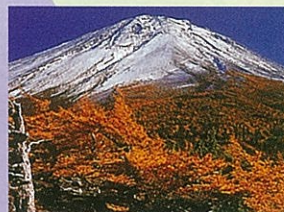
森林限界付近から上の砂地に生えます。地中深くにある地下茎から薄紅紫色の茎が直立し、茎や枝先に小さな花が集まって咲きます。



フジハタザオ

株元から枝分かかれし、葉は先太りのへら形をしています。本州中部の高山でも見られますが、富士山で特に多く生息しています。
ミヤマハンノキ、イワヒゲ、チズゴケ 他

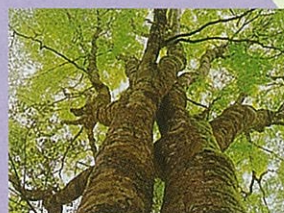
2,500m



カラマツ

カラマツなど五合目付近の樹木は年間を通して強風にあおられているため、幹が高くならず横に寝た形(風衝樹型)をしているものが多くあります。
ダケカンバ、コメツガ、シラビソ、ウラジロモミ 他

1,500m



ブナ

落葉広葉樹林の代表的な木です。ブナの近くにはカエデ類も多く、秋にはブナの黄葉、カエデの紅葉などで美しい景色が見られます。
ヤマツツジ、マメザクラ、サンショウバラ、アカマツ 他

800m



豆知識 富士山の生い立ち

富士山は世界でも数少ない玄武岩でできた単独峰の大きな成層火山ですが、古くから生息する動植物は少ない山だといわれています。富士山は、小御岳火山(約50万年前)、古富士火山(約10万年前)、新富士火山(約1万年前)の3世代にわたる噴火活動によって現在の美しい円すい形を形づくりました。

富士山環境保全 ガイドマップ



山梨県

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、山梨・静岡両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

山梨県・静岡県

〈お問い合わせ先〉

富士山憲章山梨県推進会議

富士山ボランティアセンター

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

富士ビジターセンター内

TEL.0555-20-9229 FAX.0555-72-4114

E-mail fujisan@eps4.comlink.ne.jp

山梨県観光部観光資源課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1

TEL.055-223-1521 FAX.055-223-1670

E-mail kankou-sgn@pref.yamanashi.lg.jp

気象・特徴的な地形

◆気象条件

山頂における7月～8月の月間平均気温は約6℃です。(年間平均気温は約-7℃)。6℃というのは北海道の年間平均気温とほぼ同じ温度です。

山頂の年間平均風速は約11m(麓の富士河口湖町では2m)、気圧は平地の2/3程度、紫外線が強く、乱気流が発生しやすい、雷が発生しやすい、天気が変わりやすい等の特徴があります。



寒い!

強風!

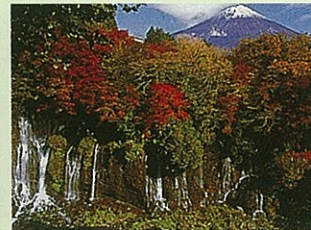
雷!

◆水

富士山から生み出される水は私たちの生活に無くてはなりません。農業用水、工業用水、生活用水として利用されており、例えば、国内で生産されているミネラルウォーターの多くが富士山の周辺で生産されています。富士五湖、忍野八海、白糸の滝、柿田川湧水等が有名です。



忍野八海



白糸の滝

◆特徴的な地形

広大な原生林の茂る青木ヶ原樹海、世界的にも珍しい溶岩樹型や溶岩洞穴など、富士山周辺には様々な自然が広がっています。



青木ヶ原樹海



富士風穴

◆豆知識 富士山の気温

富士山は鋭利な独立峰なので、麓と山頂は気象条件が大きく異なります。一般に標高が100m上がると気温は約0.6℃下がると言われています。

例えば、平地(標高約100m)で30℃の場合、富士山の麓(約1,000m)では26℃、富士山の五合目(約2,300m)では17℃、富士山の山頂(3,776m)では8℃となります。このため、富士山の周辺には多種の植物が生育しており、標高ごとに植物の入れかわりを見ることができるのです。

鳥類について

富士山には多くの鳥類が生息しており、まさに野鳥の天国です。標高や季節によって異なる種類が生息していますが、全体では約100～150種類が生息していると言われています。



イワヒバリ

日本アルプスなどにも棲む高山鳥で、夏は草本帯から岩石の多い所にて冬になると低い地点まで移動します。
アマツバメ、ホシガラス、ウソ 他

2,500m



オオルリ

オスは頭から尾にかけて背面が美しい瑠璃色、メスは茶褐色です。樹上生活が主で、チョウや羽化した水生昆虫などを捕食します。
シジュウカラ、トラツグミ、アカゲラ、ヤマガラ 他

1,500m



キバシリ

背面は黄褐色とこげ茶色で白い斑があり、一見木の皮によく似ています。キツツキに似た習性で、樹幹をらせん状に上下しながら樹皮の間の昆虫等を食べます。
クロツグミ、サンコウチョウ、コジュウケイ、コノハズク、ハイタカ 他

800m



ヒガラ

紺色の冠羽、白い頬、背面は青灰色で翼には2本の白い帯があります。平地にも多いですが、5～7月の繁殖期は山地の森林に移ります。
ノビタキ、セキレイ、セグロセキレイ、ムクドリ、オオタカ 他

登山する方へのお願い

五合目以上は国立公園の「特別保護地区」(自然公園法)と「特別名勝」(文化財保護法)に指定されています。石や草、木などを採取してはいけませんし岩を崩したり落書き、石文字などは禁止です。また、危険ですので、登山道を外れないようにしましょう。基本的には登り優先ですが、譲り合いの心は忘れないでください。



動植物、石を採らない。

◆トイレのマナー

- 富士山のトイレは、厳しい自然環境にも耐えることができる特別仕様のトイレです。
- トイレの方式によって、利用方法が異なります。使用済みの紙の分別等については山小屋の指示やトイレ内に書いてあるルールに従いましょう。
- 富士山のトイレは多くがチップ(協力金)制です。常に小銭を持ち歩き、トイレの維持管理に必要な経費を賄うため、1回200円のトイレチップにご協力をお願いします。
- 富士山のトイレの中にゴミを捨てないようにしましょう。

◆ゴミのマナー

最近では、たくさんの人々が美化清掃活動を行うようになり、富士山のゴミ問題は改善されています。富士山にゴミ箱はありません。

自分で持ちこんだゴミは全て自分で持ち帰るようにしましょう。また、自分のゴミだけではなく、目についたゴミは拾うように心がけましょう。



ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る。

- ◆ 土日は非常に混みますので、できるだけ平日に登るようにしましょう。
- ◆ 特に早朝(御来光前)の八合目以上の登山道は大変渋滞します。吉田口はどこからでも御来光を楽しむことができますので、山小屋などで御来光を見るようにしましょう。
- ◆ 夜間登山は視界が狭くなり大変危険ですので避けるようにしましょう。
- ◆ 吉田口の全ての山小屋では、

金曜・

土曜日の宿泊について完全予約制としています。

- ◆ 環境に優しい車の利用やアイドリングストップにご協力ください。

豆知識 富士山は何県?

富士山は山梨県と静岡県にまたがってそびえています。山頂に関しては、1974(昭和49)年の最高裁の判決で富士山八合目以上の土地およそ400万平方メートルのうち、富士山測候所跡や登山道などを除くおよそ385万平方メートルは、富士山本宮浅間大社に所有権があるとされました。しかし、山頂付近の県境は決まっていないため、いまだ登記されていません。

登山する時の注意

◆登山について

富士山は簡単に登れる山ではありません。登山の計画は休憩時間や不測の事態にそなえて、かなり余裕のある計画を立てるようにしてください。なお、体力には個人差があり、高山病の症状が出る人や体調を崩す人もいます。無理をせずに定期的に休憩をとりましょう。

登山しやすいシーズンは、7月から9月の中旬まで。夏シーズン以外には、山小屋が閉じてしまい、救助の場がなくなり危険です。1人登山も避けるようにしましょう。

- ◆ 体調管理には十分注意し、無理な登山はしないようにしましょう。
- ◆ 特に徹夜登山は健康や安全の面でおすすめできません。
- ◆ 吉田口七合目以上のほとんどの山小屋にAEDが設置されています。
- ◆ 具合が悪くなったら救護所(7・8合目)や山小屋を利用しましょう。

★服装★



- 日よけの帽子 紫外線が強いため、風で飛ばされないよう工夫をしましょう。
- 重ね着できる服 天候が変わりやすいため、防寒対策は特に念入りしましょう。
- 軍手 岩登りに必要。防寒具としても重要です。
- 底の厚い靴 岩場・砂地が多いため、ハイカットの靴が理想的です。

【必需品】

★持ち物チェックリスト★

持ち物	量	備考
<input type="checkbox"/> 飲み物	飲料水 500ml以上	暑いようなら1ℓ持った方がよい。
<input type="checkbox"/> 食料	1~2食	山小屋に泊まるなら1食、泊まらないなら2食分程度を持って安心。
<input type="checkbox"/> 甘い物	2~3種類	飴、チョコレート、ゼリー飲料等が疲労回復に効果的。
<input type="checkbox"/> 小銭	百円玉10枚程度	トイレチップ用として。
<input type="checkbox"/> ゴミ袋	3~5枚程度	ゴミを持ち帰る以外にも雨が降った際に物を入れるのに重宝。
<input type="checkbox"/> レインスーツ	1着	天候が変わりやすいため必須。傘は手がふさがると危険。上下に分かれているものが望ましい。
<input type="checkbox"/> その他	上着、タオル、ハンカチ、日焼け止め、ポケットティッシュ、保険証のコピー	

【あったほうがよいもの】

持ち物	備考
<input type="checkbox"/> サングラス	日差しが強く、砂が舞いやすい。コンタクトの場合は必携。
<input type="checkbox"/> マスク	砂塵地では、砂が舞うので必要。タオルでも代用できる。
<input type="checkbox"/> カイロ	夜間に歩く場合、御来光を待つ場合はあると助かる。
<input type="checkbox"/> ヘッドランプ(懐中電灯)	夜間登山の場合は必携。予備の電池も忘れないように。
<input type="checkbox"/> 杖(ストック)	バランスが取りやすくなり、足の負担を軽減できる。
<input type="checkbox"/> その他	カメラ、ウェットティッシュ、着替え、携帯電話(通じない所もあります。)

山梨・静岡両県の取り組み

◆「富士山憲章」制定(平成10年度)

日本の象徴である富士山の豊かな自然や美しい景観を守り、その恵みを後世に引き継ぐための原点として制定しました。



また、両県及び関係機関、関係市町村で構成する「富士山憲章推進会議」の開催、新たな課題である世界文化遺産の登録推進も視野に入れながら、富士山憲章の普及啓発を行っています。

◆富士山を守る指標(平成12年度)

◆富士山憲章制定3周年事業(平成13年度)

- ・富士山こども環境サミット

◆富士山憲章制定5周年事業(平成15年度)

- ・富士山憲章5周年記念シンポジウム
- ・「富士山オピニオン」全国募集
- ・大都市キャンペーン

◆山小屋トイレの整備(平成18年度で完了)

国、県、地元市町の補助金により、全ての山小屋トイレを環境保全型に改善し(山梨県側18箇所、静岡県側24箇所)、懸案のし尿処理問題を解決しました。



◆富士山頂共同クリーン作戦(平成19・20年度)

◆富士山憲章富士山頂共同キャンペーン(平成18年度~)



◆富士山憲章制定10周年記念事業(平成20年度)

世界文化遺産の登録推進も視野に入れながら、富士山保全運動の全国的な展開をより一層進めるため、両県共同で記念事業を実施しました。

- ・富士山憲章制定10周年記念フォーラム(パネルディスカッション、功労者表彰など)
- ・「富士山ボエム大賞」全国募集
- ・「ぐるり富士山」道の駅キャンペーン 等



山梨県の取り組み



◆富士山レンジャー(平成17年度～)
富士山北麓における自然保護と適正利用を図るため、巡回監視活動や環境マナーの啓発指導、子どもたちへの環境教育活動などを行う県の「富士山レンジャー」を公募により2名採用。平成26年4月1日から7名体制で活動しています。

◆富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン(平成16年6月25日策定)

青木ヶ原樹海等の原生的な自然環境を保全し適正かつ持続的な利用を図るため、エコツアー実施事業者や関係機関等の合意により、利用可能ルートの限定、エコツアー参加者数やガイド数などの目安をガイドラインとして策定し、「富士山北麓型エコツーリズム」の推進に努めています。

※「富士山北麓」地区は環境省エコツーリズム推進モデル地区(平成16～18年度)に指定され、多数の来訪者が訪れる典型的観光地における環境に配慮した持続可能な観光を目指し取り組んでいます。



◆富士山麓環境美化推進ネットワーク(平成16年度～)

山麓部のゴミ不法投棄の未然防止、監視・発見のため、地元の民間団体や企業、関係機関等によるネットワークを設立し、日常業務活動の中での監視・啓発活動を行っています。平成21年度末現在の構成団体:約42団体(約5,000人)。

◆富士山ボランティアセンター(平成12年度～)



富士山憲章の普及啓発を図るための推進拠点として、憲章キャンペーンや富士山環境学習支援プログラム、富士山エコトレッキングなど各種啓発事業、環境保全活動に関するサポートや情報提供などを行っています。(なお、平成19年度から県世界遺産推進課北麓分室を併設。)

TEL 0555-20-9229 (E-mail fujisan@eps4.comlink.ne.jp)
URL <http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/index.html>

・「富士さんへ謹賀新年」(富士山あて年賀状)全国募集

富士山環境保全啓発事業の一環として、富士山のイラストに様々な想いを書き添えた年賀状の全国募集を平成16年から行っています。



◆富士山五合目周辺自然解説員

5～11月の期間、五合目総合管理センターを拠点として、五合目周辺を散策する観光客に同行し富士山の自然解説活動を実施しています(無料・要予約)。申込み・問い合わせは富士山ボランティアセンター(TEL0555-20-9229)又は富士山五合目総合管理センターまで(TEL0555-72-1477)まで。

静岡県の取り組み



◆富士山3776自然林復元大作戦
富士山にふさわしい豊かな森林づくりを進めるため、公募ボランティアの協力により、自生種広葉樹の植樹やシカ食害防止のための幹巻きテープの巻き付けなどを行っています。



◆富士山のごみ減量大作戦
山麓周辺道路沿いや登山道沿いで、公募ボランティアの協力により清掃活動を実施し、富士山のクリーンアップと富士山保全意識の啓発に努めています。

◆「富士山へ登る人のために」外国人向けマナーガイドブック(平成19年度～)
外国人登山者向けに4ヶ国語(英・中・韓・ポルトガル)の登山マナーガイドブックを作成し、富士山小屋や観光施設等で配布。

◆ふじさんネットワーク(平成11年度～)
富士山を愛する環境保全団体、NPO、企業、行政、個人等からなるネットワーク組織です。「まず、行動する」を合言葉に、富士山エコレンジャー活動、自然観察会、富士山勉強会の開催、富士山みがかきあげ作戦などを実施し会員相互に情報を交換しながら環境保全活動に取り組んでいます。
ふじさんネットワークでは、富士山の環境保全活動の輪に参加いただける方を募集しています。あなたも富士山のために行動しましょう。
※421団体・個人で構成(平成22年5月末現在)

・富士山エコレンジャー

来訪者に対して富士山の実情に応じたマナー啓発、自然・文化などへの理解を求める情報提供、動植物の保護とその情報収集などの活動に取り組んでいます。

また、毎年夏期に実施される富士山スカイラインのマイカー通行規制中には、シャトルバスに添乗して活動を行っています。

・富士山ピンバッジ配布

富士山の環境保全への協力を呼びかけるとともに、環境保全活動を全国に向けてPRするため、寄付を募り、その記念品として「富士山ピンバッジ」を配付した。寄付額1口300円(花シリーズ5個セットは1,000円)以上



●お問い合わせ先

TEL 054-221-2963 (E-mail 3776fujj@pref.shizuoka.jp)
URL <http://www.fujisan-net.gr.jp>

インフォメーション(山梨県側)

■けが、病気

山梨県富士山七合目救護所 ☎090-5198-3472
富士吉田市富士山八合目救護所 ☎0555-24-6223
※富士山安全指導センターとつづき

山梨県富士山五合目総合管理センター(5～11月) ☎0555-72-1477
富士山安全指導センター(7～9月) ☎0555-24-6223
富士五湖消防本部 ☎0555-22-0119

■落とし物、迷い人、事件、事故

富士吉田警察署 ☎0555-22-0110

■観光全般

富士ビジターセンター ☎0555-72-0259

■富士山の環境保全、エコツーリズム

富士山ボランティアセンター ☎0555-20-9229
(富士山レンジャールーム) ☎0555-72-5861

■環境学習施設等

環境省生物多様性センター ☎0555-72-6031
山梨県富士山科学研究所 ☎0555-72-6211
富士吉田市歴史民俗博物館 ☎0555-24-2411
富士山レーダードーム館 ☎0555-20-0223
さかな公園 ☎0555-84-7261
四季の杜 岡田紅陽写真美術館
小池邦夫絵手紙美術館 ☎0555-84-3222
山中湖交流プラザきらら ☎0555-20-3111
なるさわ富士山博物館 ☎0555-20-5600
河口湖フィールドセンター ☎0555-72-4331
西湖野鳥の森公園 ☎0555-82-2160

■市町村観光情報

富士吉田市富士山課 ☎0555-22-1111
西桂町産業振興課 ☎0555-25-2121
忍野村地域振興課 ☎0555-84-7794
山中湖村観光課 ☎0555-62-9977
鳴沢村企画課 ☎0555-85-2311
富士河口湖町観光課 ☎0555-72-3168
身延町観光課 ☎0556-62-1116

■交通情報

富士山有料道路(富士スバルライン)管理事務所 ☎0555-72-5244
中央自動車道 ☎0426-91-0058
東富士五湖道路 ☎0555-22-6719
富士急行富士吉田駅 ☎0555-22-7133
富士急山梨バス ☎0555-72-6877
富士急高速バス電話予約センター ☎0555-72-5111

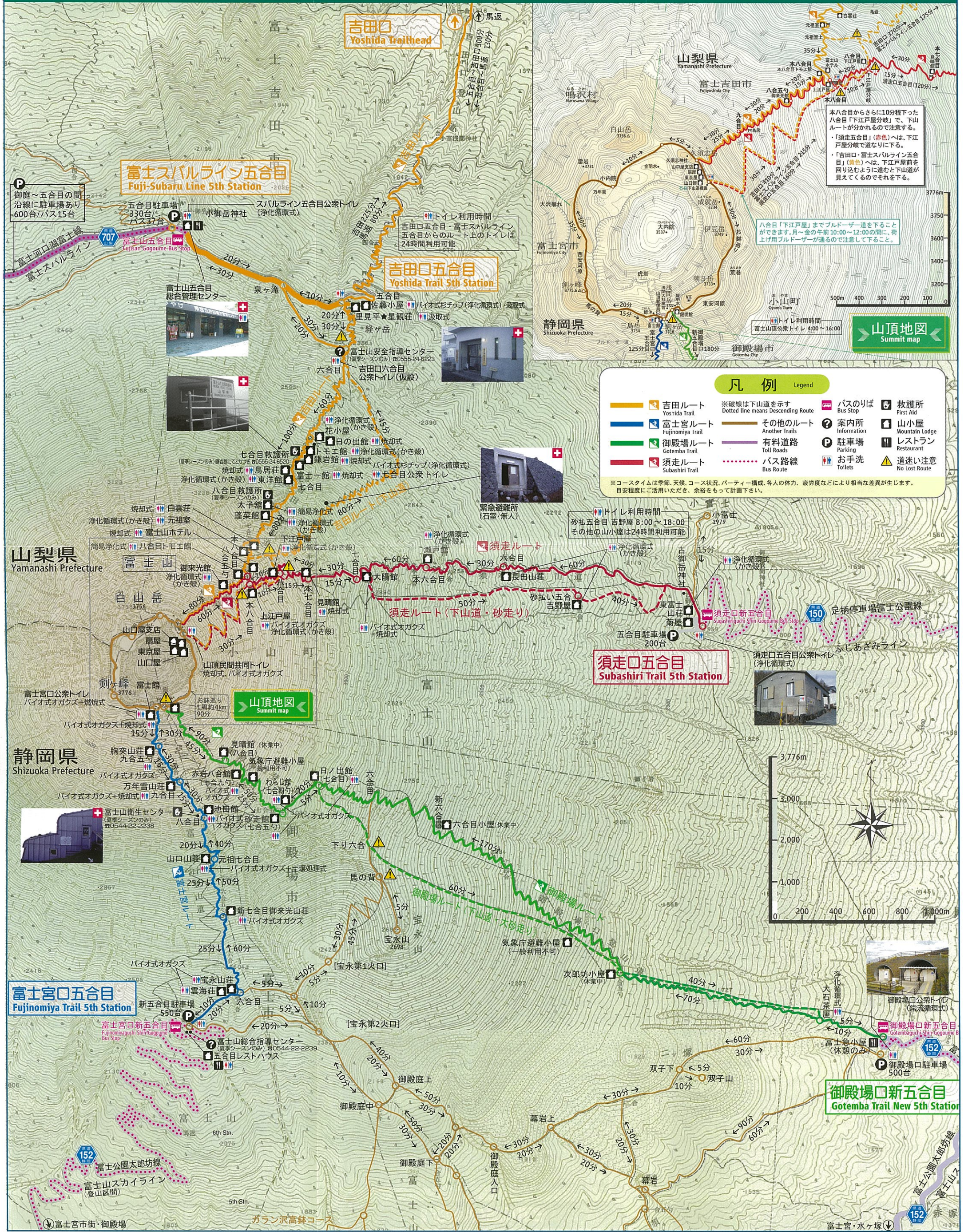
富士山登山道マップ

■トイレ整備

山梨・静岡両県では平成14年度から平成18年度までに42箇所すべての山小屋のトイレを、し尿を放流しない環境にやさしいトイレにしました。
新しく整備されたトイレは利用者にも好評です。マナーを守ってご利用下さい。

富士山のゴミとトイレのお約束

- ゴミは必ず持ち帰りましょう。(富士山にゴミ箱はありません。)
- トイレはキレイに使いましょう。トイレにゴミなどを捨てないで下さい。
- トイレの方式によって、利用方法が異なります。使用済みの紙の分別等については、山小屋の指示やトイレ内に書いてあるルールに従いましょう。
- 富士山のトイレは多くがチップ(協力金)制です。1回200円のトイレチップにご協力をお願いします。



山頂地図 Summit map

本八合目からさらに10分程下った八合目「下江戸屋分岐」で、下山ルートが分かれるので注意する。
・「須走五合目(赤色)へは、下江戸屋分岐で道なりに下る。
・「吉田口・富士スバルライン五合目(黄色)へは、下江戸屋前を回り込むように進むと下山道が見えてくるのでそれを下る。

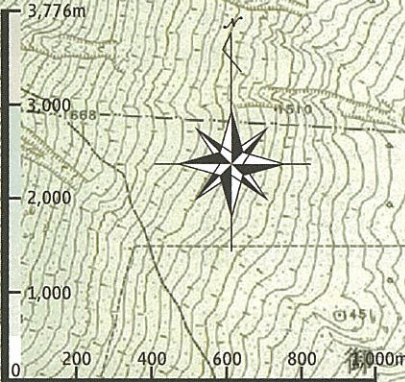
八合目「下江戸屋」までブルーザー道を下ることが出来ます。月～金の午前10:00～12:00の間に、荷上げ用ブルーザーが通るので注意して下さい。

トイレ利用時間
富士山頂公衆トイレ 4:00～16:00

凡例 Legend

吉田ルート Yoshida Trail	※破線は下山道を示す Dotted line means Descending Route	バス利用 Bus Stop	救護所 First Aid
富士宮ルート Fujinomiya Trail	その他のルート Other Trails	案内所 Information	山小屋 Mountain Lodge
御殿場ルート Gotemba Trail	有料道路 Toll Roads	駐車場 Parking	レストラン Restaurant
須走ルート Subashiri Trail	バス路線 Bus Route	お手洗 Toilets	道迷い注意 No Lost Route

※コースタイムは季節、天候、コース状況、パーティー構成、各人の体力、疲労度などにより相当な差異が生じます。目安程度にご活用いただき、余裕をもって計画下さい。



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22業複 第198号)